

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 エムケー精工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 将一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

四半期報告書提出予定日 平成26年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年3月21日～平成25年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,975	0.3	1,160	△6.0	1,107	△6.3	659	△20.6
25年3月期第3四半期	14,934	3.8	1,234	17.6	1,181	18.7	830	2.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 849百万円 (0.9%) 25年3月期第3四半期 842百万円 (△0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45.51	—
25年3月期第3四半期	57.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	21,041	8,754	41.6	603.71
25年3月期	19,641	8,020	40.8	553.09

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,754百万円 25年3月期 8,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	0.9	810	△6.9	720	△7.9	420	△29.8	28.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	15,595,050 株	25年3月期	15,595,050 株
26年3月期3Q	1,093,718 株	25年3月期	1,093,042 株
26年3月期3Q	14,501,496 株	25年3月期3Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や経済政策の効果を背景に円高は正や株価上昇が進み、企業収益に改善傾向が見られるなど、今後更なる景気回復に期待が寄せられている一方、円安の影響による輸入物価の上昇や消費税増税を控えており、先行きへの不透明感は払拭できない状況にあります。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資は回復傾向にあるものの激しい価格競争が継続しており、また原材料価格高騰に伴うコストアップなど、引き続き厳しい事業環境で推移いたしました。

こうした状況のもと当社グループは、顧客ニーズの変化に敏感かつ柔軟に適応し、環境問題に配慮した商品開発を行うとともに、製品の開発から販売まで一貫した合理化やV Aの推進、在庫削減など、より強固な財務基盤の構築と人材育成に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は149億7千5百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は11億6千万円（前年同期比6.0%減）、経常利益は11億7百万円（前年同期比6.3%減）、四半期純利益は法人税が増加し6億5千9百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、S S業界の元売や大手顧客におきまして設備投資需要が引き続き堅調に推移し、門型洗車機発売30周年記念モデルの投入や積極的な提案活動が寄与したことから、販売台数が増加しました。また、オイル関連製品の売上が伸長し、メンテナンス部門も好調に推移した結果、売上高は前年同期比8.8%増の90億1千8百万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機は、新製品の導入効果もあり売上に貢献しましたが、海外製品との価格競争により苦戦を強いられました。また、官需関連におきましては、前年度受注分の道路情報板が今期売上に寄与したものの、期中の受注は伸び悩み、売上高は前年同期比22.9%減の14億8千6百万円となりました。

(生活機器事業)

景気回復の期待感を背景に個人消費にも明るさが見え始めておりますが、パン焼き機などの調理家電を含めた一般家庭向け商材は、海外商品との価格競争により厳しい状況が続きました。また、保冷米びつや電子レンジ置台は健闘したものの、主力商品の農産物低温貯蔵庫は低調に推移し、売上高は前年同期比8.9%減の32億9千1百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・販売が主な事業であります。主要取引先である建設業界は厳しい受注価格競争が続いておりますが、前年度後半からの受注が好調に推移し当期の売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比6.1%増の10億5千万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業におきましては、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いているものの、ビジネス・観光ともに需要回復の兆しが見え始め、売上高は前年同期比11.1%増の1億2千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億円増加し210億4千1百万円となりました。流動資産は15億4千8百万円増の116億6千7百万円、固定資産は1億4千7百万円減の93億7千3百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、売掛金が10億7千6百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ6億6千6百万円増加し122億8千7百万円となりました。流動負債は5千4百万円増の87億7千2百万円、固定負債は6億1千2百万円増の35億1千4百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことと長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ7億3千3百万円増加し、87億5千4百万円となりました。これは主に四半期純利益6億5千9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月2日付「平成25年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,540,003	1,392,959
受取手形及び売掛金	3,910,504	5,354,754
商品及び製品	1,397,452	1,324,823
仕掛品	1,211,843	1,360,457
原材料及び貯蔵品	1,770,055	2,044,697
その他	309,543	214,174
貸倒引当金	△20,240	△24,501
流動資産合計	10,119,163	11,667,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,859,857	2,770,892
機械装置及び運搬具（純額）	262,034	254,964
土地	2,981,164	2,981,164
その他（純額）	138,710	139,978
有形固定資産合計	6,241,767	6,146,999
無形固定資産		
のれん	1,057,042	975,394
その他	528,881	505,453
無形固定資産合計	1,585,923	1,480,847
投資その他の資産	1,693,487	1,746,124
固定資産合計	9,521,178	9,373,971
繰延資産	966	241
資産合計	19,641,308	21,041,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030,272	1,424,256
短期借入金	2,960,000	2,590,000
1年内返済予定の長期借入金	1,637,843	1,238,590
未払金	2,490,303	2,714,106
未払法人税等	170,934	294,849
引当金	306,712	118,460
その他	121,539	391,853
流動負債合計	8,717,606	8,772,116
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	2,290,561	3,000,132
退職給付引当金	256,153	246,756
その他	256,032	268,040
固定負債合計	2,902,747	3,514,928
負債合計	11,620,353	12,287,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,419,826	2,963,767
自己株式	△510,121	△510,386
株主資本合計	8,234,400	8,778,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,150	105,683
繰延ヘッジ損益	17,390	8,026
為替換算調整勘定	△289,987	△137,253
その他の包括利益累計額合計	△213,446	△23,543
純資産合計	8,020,954	8,754,533
負債純資産合計	19,641,308	21,041,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
売上高	14,934,266	14,975,774
売上原価	10,042,614	10,002,807
売上総利益	4,891,651	4,972,967
販売費及び一般管理費	3,657,629	3,812,429
営業利益	1,234,022	1,160,537
営業外収益		
受取配当金	17,939	25,393
その他	38,732	44,792
営業外収益合計	56,672	70,185
営業外費用		
支払利息	85,274	71,832
その他	23,455	51,482
営業外費用合計	108,730	123,315
経常利益	1,181,964	1,107,407
特別利益		
固定資産売却益	135	208
特別利益合計	135	208
特別損失		
固定資産売却損	3,526	1,976
投資有価証券評価損	41,598	—
ゴルフ会員権評価損	—	220
特別損失合計	45,125	2,196
税金等調整前四半期純利益	1,136,974	1,105,419
法人税、住民税及び事業税	217,721	367,243
法人税等調整額	88,368	78,219
法人税等合計	306,090	445,462
少数株主損益調整前四半期純利益	830,884	659,956
四半期純利益	830,884	659,956

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	830,884	659,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,213	46,533
繰延ヘッジ損益	△1,110	△9,364
為替換算調整勘定	123	152,733
その他の包括利益合計	11,225	189,902
四半期包括利益	842,110	849,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	842,110	849,859

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,286,155	1,927,271	3,615,214	990,071	115,552	14,934,266	—	14,934,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,069	26,267	248,667	5,276	103,748	391,028	△391,028	—
計	8,293,224	1,953,539	3,863,881	995,348	219,301	15,325,294	△391,028	14,934,266
セグメント利益又は 損失(△)	1,272,438	△45,356	591,779	△45,966	32,173	1,805,068	△571,046	1,234,022

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△571,046千円には、セグメント間取引消去19,563千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△590,609千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,018,838	1,486,622	3,291,709	1,050,216	128,388	14,975,774	—	14,975,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,523	35,639	252,350	179	103,655	398,348	△398,348	—
計	9,025,361	1,522,261	3,544,059	1,050,395	232,044	15,374,122	△398,348	14,975,774
セグメント利益又は 損失(△)	1,516,454	△182,849	450,083	△34,219	39,739	1,789,208	△628,670	1,160,537

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△628,670千円には、セグメント間取引消去19,568千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△648,238千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。